

## 第21回 「伝統構法住宅 設計実務の勘所」 限界耐力計算で広がる設計の自由度

これ木連では昨年10月、第4回フォーラム「石場建てを含む伝統的構法木造建築物の設計法」東京報告会を行った。その報告書には「伝統的構法は、同じ軸組構法である在来構法とは構造力学的には全く異なると言ってよい。」と書かれている。

ここで言う「在来構法」とは、建築基準法施行令第46条（構造耐力上必要な軸組等）の耐力壁による軸組の評価による設計法のことである。

報告書には伝統的構法に対応する設計法が提案されているが、限界耐力計算の考え方と同じ「近似応答計算」に基づいて作られたと記されている。

「構造力学的に異なる」この特性について、施工あるいは設計を担う実務者は直感としては理解しつつも、その評価手法を用いて確認する作業を行なうことは必ずしも多くはないだろう。

現在、限界耐力計算によって構造の安全性を確しながら設計された事例数も増えてきた。

そこで今回は、限界耐力計算を用いながら、伝統的構法の実作を重ねている設計者を招き、その事例に触れながら、設計法による評価の違いなどの解説をもらいながら、実務上の勘所を探るが狙いである。

壁量計算ではできず、限界耐力計算で可能となること。耐震偽装以後の確認申請厳格化によって、どのように実務が変わったのかなど、実務者の生の話を聞きながら、伝統構法への理解を深めたい。



【日時】平成27年 6月20日(土) 13:30~16:30 (開場 13:00)

【会場】東京芸術大学美術学部 中央棟第3講義室 (台東区上野公園 12-8)

【講師】川端 眞 氏 川端建築計画代表

【定員】100名 (申込順、定員になり次第締切)

【参加費】2,000円

【申込・問合せ】これ木連事務局

(風基建設株式会社内 担当: 渡辺)

TEL: 03-3356-4841 FAX: 03-3356-4843

Eメール: koremokuren@e-mail.jp

※当会ホームページの「申込フォーム」  
からのお申し込みが便利です。

【締切】6月17日(水)

参加者1名ごとに、氏名、所属、電話、  
ファクス、メールアドレスを明記のこと。

【主催】これからの木造住宅を考える連絡会

財団法人住宅産業研修財団 優良工務店の会  
職人がつくる木の家ネット  
NPO伝統木構造の会  
一般社団法人 日本曳家協会  
NPO日本民家再生協会  
NPO緑の列島ネットワーク



【交通】JR上野駅(公園口)徒歩10分、  
東京メトロ千代田線根津駅徒歩10分

■講師プロフィール

## 川端 真氏



川端建築計画代表

1963年、滋賀県生まれ。1986年、名古屋工業大学建築学科卒業。都市計画コンサルタント、建築設計事務所勤務を経て、1997年、川端建築計画を設立。建築設計監理を行い現在に至る。

2003年、木造限界耐力計算の考え方に感銘を受け、伝統構法に関する設計や文化財の耐震改修等にも実践的に取り組んでいる。

.....申し込み.....

(メール申し込みの場合は下記内容を koremoku@e-mail.jp まで、または当会HPの「申込フォーム」から)

◆連続講座「伝統構法を考える勉強会」

第21回 「伝統構法住宅 設計実務の勘所」

限界耐力計算で広がる設計の自由度

勉強会に参加します

※ チェックを入れてください

①	氏名：		会社：		所属する 団体等：	
	連絡先 TEL：		連絡先 FAX：		連絡先 Eメール：	
②	氏名：		会社：		所属する 団体等：	
	連絡先 TEL：		連絡先 FAX：		連絡先 Eメール：	

懇親会（¥3,500 内外）に参加します。  懇親会に参加しません。

**FAX 03-3356-4843**